

第2号

昭和54年12月13日(休)

瑞山会会報

編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1(名古屋市立大学経済学部内)



市大祭第30周年記念
ハイファイセットコンサート

創立30周年を迎える

この名古屋の街に市立大学が誕生して三〇年を迎えることになった。戦後の混乱が落ち着きを見せ始めた昭和二十四年一月二八日、名古屋市議会は、当時の名古屋女子医科大学と名古屋薬科大学を統合して名古屋市立大学の設置を議決、翌二五年四月一日入学定員一、二〇名、二学部の公立大学として産声をあげた。爾来、経済学部の設置を間に挟んで三〇年目を明年迎えることになったのである。

大学当局は、現在三〇周年記念事業として、研修所の設置を検討している模様であるが、具体性を帯びるのは明年となりそうである。また、学生の間では「学生歌」を作ろうとする動きもある。

ところで、十一月二日より始まった恒例の市大祭は、開学記念祭として始まった関係もあり、ひと足早く第三〇回記念祭となり、記念企画として、「ハイファイセット・ファッショナブルコンサート」から幕を開けた。山の畑校舎脇の体育館で満員の観衆を前に華麗なステージが展開された。

このように大学当局や学生による記念事業が進められていく中で、同窓会としての動きは薬学部、医学部ともまだ具体化していないが、一部には記念館の建築の話もあるようである。

瑞山会としても、可能な限り積極的に記念行事に参加すべく、理事会に於て検討に入っている。

第一回代議員会議事報告

日時 五月十七日(木)

場所 山の畑校舎経済学部

出席者 代議員八名(委任状二名)、会長一名、副会長三名、理事十四名、監事二名顧問長坂氏
議長には鈴木高康氏(五期生)へ依頼しました。

一、総会に対する反省意見

日時 五十三年十一月十九日

場所 都ホテル 費用 五千円

参加者 一六三名

(一)参加者数に卒業年次別のばらつきが目立った。将来総会の低迷する一因として憂慮すべき。

イ理事、代議員の協力を積極的に地域職域支部創りを。

ハ職場、各ゼミ、各クラブの先輩後輩からの呼びかけをニ教職員多数の参加の要請(二)スマートなパーティーへ

総会は旧交を温めると同時に新しい友との出会いの場の認識

(三)総会をより魅力あるパーティーへ充分な準備と講演者等の慎重な選択及び大学の学術文化スポー

ツ活動の近況報告及び就職状況、(出来れば同窓会○○コンペ表彰式等)を組入れた総括の場

(四)総会は毎年一回開催

会場としてホテル使用は四年毎、他年は大学学生会館利用。

二、理事会報告(第一回〜三回)

三、卒業記念祝賀パーティー報告

日時 三月二四日(土)午後一時

場所 山の畑校舎学生会館

学部長より瑞山会へ依頼が有り、理事会にて検討。

瑞山会は三十万円の予算を準備、学生、生協との三者会談を二回持つ。学生側より謝恩の意味で参加卒業生から千円負担の申し出有り。

「学生主催」「瑞山会後援」として、学生による準備企画進行を行なう。瑞山会による「会長挨拶」「設立総会時のスライド鑑賞」「寸劇」を組入れる。

参加学生二百名中百六十名程、教職員多数参加。

課題—今後、定着恒例化させるため、在校生を含めて取組みに協力

したい。

四、会計報告

五三年度会計報告—承認

会費年次別納入状況、会費振込み

依頼、支出事項別報告

基金処理報告—承認

会計規程報告—承認

五、五三年度会計監査報告—承認

六、五四年予算計画

—一部補正修正の上承認。

原則として、新入生より徴収する会費を事業費用として予算化し、卒業生の振込み分は固定基金の取扱いをする。

七、会報

会報は費用面で年一回発行。

内容は総会、決算、予算、代議員会、卒業記念祝賀パーティー、他に就職状況、大学の近況、ゼミ散歩等を盛り込む。

名簿追録は新卒業生の定着する時期(秋頃)に会報と同時発行する。

八、支部創りについて

地域職域支部創りを積極的に支

援したい。地域別(関東、関西)に在住する人のリスト作りの上、理事会にて再考。

九、会員の慶弔についての取扱い

(一) 会員の弔事 (会員本人のみ)

弔電のみを直接庶務部長又は会長から瑞山会名で打つ。

(弔電が重ならないための窓口—本化です。すみやかな連絡を)

窓口 庶務部長 近藤常夫(二期) 八四一—〇二二四

又は(会長 栗野泰次(一期) 七七二—八八八〇)

(二) 会員の慶事
気づいた人が瑞山会名で自己負担にて祝電を送る。

十、新理事の選任

蒲野鎮氏(十二期)が新理事に選任されました。

その他

来年、名市大三十周年記念式典が催される予定。瑞山会として積極的に取組んでいきたい。

瑞山会の長期的展望について今後の理事会の課題にしたい。

第二回理事会

日時 一月二五日(木)

場所 山の畑校舎経済学部

出席者 十八名

一、予算計画案の検討
一、会計規程案の検討及び承認
一、新卒業生祝賀会の打合せ

第三回理事会

日時 三月八日(木)

場所 川澄校舎本部三階

出席者 十八名

一、予算案の検討及び承認
一、資産の運用について—承認
一、卒業生祝賀会検討
一、慶弔の処理—承認
一、代議員会議案検討

第四回理事会

日時 十月四日(木)

場所 山の畑校舎経済学部

出席者 九名他顧問長坂登氏

(一)同窓会名簿追録
不明者の調査
(二)会報発行の件
(三)総会の件

時期は四月又は五月頃。
立食パーティー方式



第 1 期 収支計算書

(自 昭和53年11月19日)
(至 昭和54年 3月31日)

(単位円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	基金積立金内訳	
名簿発行費	2,460,400	会費収入	10,653,000	現金	250,000
会報発行費	145,000	会費外収入	1,203,161	普通預金	161,921
総会費	815,000			郵便振替口座	548,000
新卒祝賀費	300,000			定額貯金	1,000,000
通信費	282,082			割引興業債券	1,992,432
事務運営費	769,800			金銭信託	396
その他	131,130			貸付信託	3,000,000
小計	4,903,412			資産会計	6,952,749
基金積立金	6,952,749				
支出合計	11,856,161	収入合計	11,856,161		

第 2 期 昭和54年度予算計画

収入の部

勘定科目	昭和54年度予算額	昭和53年度決算額	比較増減
会費収入	2,110,000	10,653,000	△ 8,543,000
会費外収入	0	1,203,161	△ 1,203,161
合計	2,110,000	11,856,161	△ 9,746,161

支出の部

勘定科目	昭和54年度予算額	昭和53年度決算額	比較増減
名簿発行費	0	2,460,400	△ 2,460,400
名簿発行費引当金	500,000	0	500,000
名簿追録発行費	100,000	0	100,000
会報発行費	100,000	145,000	△ 45,000
総会費	150,000	815,000	△ 665,000
新卒業生祝賀会費	300,000	300,000	0
通信費	312,000	282,082	29,918
事務運営費	353,500	769,800	△ 416,300
その他	0	131,130	△ 131,130
基金積立金	0	6,952,749	△ 6,952,749
予備費	294,500	0	294,500
合計	2,110,000	11,856,161	△ 9,746,161

第12期生卒業謝恩会

昭和54年 3月24日(土)
学生会館(山の畑)



松井学部長あいさつ

毎年市大の学舎から新しく社会へ巣立つ若人達がいる。今年も三月二十四日、川澄で卒業式が行われた。その後で例年には無い、卒業生にとって思い出となる謝恩会が催された。この行事は経済学部としては学部設置以来初めてのことである。毎年卒業生の中から話題にはなるが実際に行なうに至らなかったところ、今年の卒業生



学生生活最後の思い出

を中心とした学生が昨年より企画し、瑞山会も資金的に援助をし、現実に開催の運びとなった。

会是小雨まじりの中、山の畑の学生会館で行なわれた。広い会場に多くのテーブルが並べられ、その上にビール・料理・果実が山のようにデコレートされ、真中には卒業を祝うように赤い花が飾られムードを盛り立てていた。

もうすでに社会人と思わせるスーツ姿の学生、着物姿やファッション雑誌から抜け出したように美しい女子学生、四年間の学生生活で色々と教えて頂いた先生方、仕事のある中、駆けつけてくれた瑞山会理事の方々で一杯の中で、卒業生の実行委員が司会や進行を担当し、プログラムは楽しく、一段と印象深いものとなって進んだ。

最初に松井学部長の音頭で乾杯が行なわれ、学部長の挨拶が続いた。卒業を心からお祝いすると共に、これからの貴重であり本当の勉強でもある。健康に充分気をつけ、個人的にも収入と支出のバランスを取り、社会の荒波を乗り越えて下さい。との祝辞でした。

次に山崎教養学部長より二つのアドバイスを頂いた。卒業生にと



って実社会は不自由な、規制の多い社会と感ずるかもしれない。しかし、どんな会社でも伝統を持っている。三、五年間は何も文句を言わず頑張つて、そしてそれから建設的な意見を発表するようにしてほしい。第二は結婚の問題。人生にとって職場と家庭は大事である。結婚生活を感銘深きものにするには出発が肝心である。つまり青春時代に互いを思いやり、清らかな生活を送り、常に新鮮さが感じられるようであればならない。又、栗野瑞山会長からは、同窓生を代表して、卒業をお祝いす

と同時に、同窓生としての自覚を持ってほしい。学生時代を如何に過ごしたかによって考え方も違ってくるだろうけれど、いつまでも大学生の思い出を大切にしてくださいとの事でした。

パーティは時間が過ぎるにつれて盛り上がりを見せてきた。舞台は、パートIIとなり余興が始まった。世良公則、西城秀樹のYMC Aなど現代の若者の中で流行している歌が次々と唄い続けられた。ゼミ対抗のごとく、ゼミ生一同は又はゼミ教授を含むグループは、壇上狭しと大きな声で歌いゼミ活動最後の思い出を綴った。途中スポットライトを一身に受け、何曲もリクエストに答えて唱うソロシンガーがいた、就職先はレコード会社だろうか？

名残りは尽きなく、時間は大幅に超過しても終わりを知らない。最後に、瑞山会理事による



寸劇を4コマ、実社会の教訓をユーモアとアイロニーを込めてコメディタッチに演じました。

卒業生にとって、こんな楽しい思い出深い謝恩会が成功したことは、大変素晴らしい事であり、是非ともこれからこのような会ができるよう瑞山会としてもできるだけの援助をし頑張つてゆきたいと思つています。



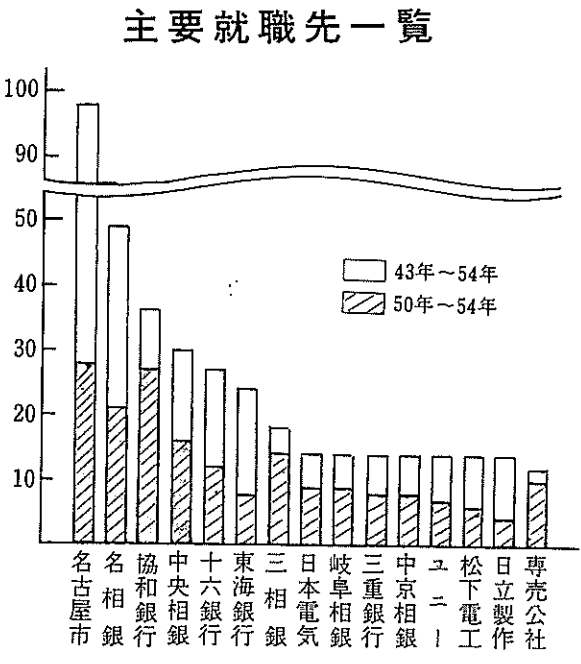
市大生の就職状況

昭和四十三年三月、名市大経済学部最初の卒業生が誕生した。以来今年で十二回、総勢二千五百人余の名市大生が社会に向かって旅立っていった。そこで、今までの卒業生の足取りの一端をたどつてみようと思う。

まず「主要就職先一覧」であるが、これは過去十二年間の主要就職先とその人数、及びその最近五年間の人数をグラフにしたもの

昭和54年主要就職先

名古屋市役所	五名
中央相互銀行	四名
岐阜相互銀行	四名
碧海信用金庫	四名
協和銀行	三名
東海銀行	三名
郵船航空サービス	三名
ヤマハ発動機	三名
日本電気	二名
松下電工	二名
愛知トヨタ	二名
トヨタ車体	二名
豊田自動織機	二名
名古屋相互銀行	二名



このグラフから次の二点が見てとれる。

第一は、名古屋市役所へ就職した人数の多さである。過去十二年間では群を抜き、最近五年間及び昭和五十四年の就職でも第一位の座を守っている。しかし、グラフをよく見れば過去十二年間に比べて最近五年間では人数が半減していることに気がつく。

第二は、単一企業としてはさほど目立たないが、職種別で見ると銀行へ就職した人数の多さである。この点から見れば、グラフの第一位を占める名古屋市の倍以上であり、最近五年間では、名古屋市が半減したのに比べ、単一企業としても職種別としても一定している。

次に「昭和五十四年主要就職先」であるが、この表からは前に述べた二点以外に、地元企業の増加という点が目に付く。

これらのことから言えることは、名古屋市が、名古屋市役所といふ大樹の下を去りながらも、金融の期待に応えつつ、より広い世界で認められるようになったということであろう。

柴田裕教授 (経済政策)

『通商白書』をテキストにして、世界経済の中の日本経済の諸問題を取扱う。

松井哲夫教授 (産業経済論)

今日の資源・エネルギー危機の特徵と性格を科学的社会主義の立場から解明し、危機を克服するための正しい政策を模索する。

真藤素一教授 (金融論)

金融論の基礎理論を学習する。応用として国際取引と銀行信用との関係を考える。

妙見孟教授 (O・R)

経済理論・政策理論とその応用に関連する問題を系統的に学習。経済現象の数量的分析方法の実力を身につける。

岩橋亮輔教授 (統計学)

消費者行動の数理的説明を中心に数理経済学及び統計的意思決定論を解説する。次に、マクロ経済理論を中心に統計的意思決定及び最適制御過程を解説する。

村田安雄教授 (経済原理)

動学的経済理論と経済政策

牛嶋正教授 (財政学)

財政学を展開する為に必要な経済学基礎理論を、次にわが国の財政制度を国及び地方にわたって修得する。

芝原拓自教授 (経済史)

戦後日本経済の諸問題を、戦前段階のそれと対比し、現代的な経営形態・企業形態の展開過程に焦点をあてて演習する。

西田耕三教授 (経営学原理)

経済社会の望ましいあり方を考える。又、組織体の中の個人の生き方、生きがい、働きがいを考える。

宮川淳助教授 (産業経済論)

現代世界、日本の食糧・農業問題の諸局面を解明する。

根津永二助教授 (金融論)

理論面では主として、ミルトン・フリードマンの金融理論を中心に研究し、政策面では国債について研究する。

大路雄司助教授 (経済政策)

現代世界、日本の食糧・農業問題の諸局面を解明する。

代資本主義体制の構造分析を取り扱う。寡占体制の理論及び史的展開について基礎的理解を深める。また、現代巨大企業体制の実態を考察する。

国村道雄助教授 (経営政策)

会計学の基礎知識を習得する。会計情報を分析する。

宮原孝夫助教授 (統計学)

アレン「現代経済学」により、マクロ経済理論を学習する。又、ドーフマン他「線型計画と経済分析II」を研究する。

内藤能房助教授 (国際経済学)

現在の国際経済関係をいわゆる、南北問題の観点からとらえ、発展途上国の経済開発の問題と国際経済秩序のあり方を検討する。

辻正次助教授 (経済原論)

現実の経済を念頭におき、現代経済学の基礎理論を習得する。

醍醐聡助教授 (会計学)

現代的財務会計問題の研究と資金会計の理論と応用。

ゼミナール紹介

経済学部が発足後、十六年経過し、初期と比べて講座の拡充がなされてきました。教員スタッフにも異動があり、卒業生には耳新しき名前もみられることと思えます。現在の講

座を知って頂くため、ゼミ紹介を企画しました。

履修要項より抜粋し掲載しました。

(カッコ内は担当講座)

木村吉男教授 (計量経済学)

経済成長と景気循環、所得と物価の変動に関連するワルラス、マルクス及びケインズの考え方の異なる理解を主目的とする。

松永嘉夫教授 (国際経済学)

国際経済学の基礎を学習し、国際通貨問題の研究、またカレント・トピックスについて討論する。

上村政彦助教授 (社会政策)

社会保障の形成過程を検討した後その現段階における制度的側面について学習し、社会保障の全体像を把握する。以上をもとにして社会保障の政策論的研究を行なう。

中居文治助教授 (会計学)

貨幣価値安定下における価格変動会計とインフレーション会計。

安藤金男助教授 (経済学史)

イギリス古典経済学への理論史的なアプローチを共通課題とする。経済学あるいは社会科学上の「古典」を選んで進級論文とする。

塩見治人助教授 (経済史)

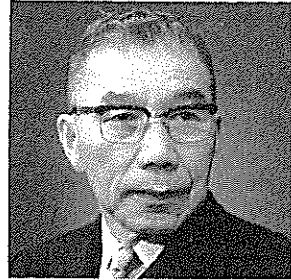
20世紀資本主義の発達史、及び現

一谷先生を偲ぶ

第一期生
小嶋 義雄

生者必滅は世の慣いとは申せ、大恩ある一谷先生の訃報に痛恨哀惜の情で言うべき言葉もありません。また、先生の常に純粹で若々しい学究への情熱が偲はれ、初代学部長として市大経済

学部の発展に精魂を傾けておられる俤が甦つてなりません。
思えば、一谷先生は「パイオニア精神と正義感を忘れるな」という気魄のもとに、開設当時の幾多の困難を率先して乗り越え、今日の市大経済学部の礎を築かれました。また、多忙なる激務の中で、当時のすき間風吹く底冷えの川澄ゼミ室で、夜遅くまで温かくも厳しい御指導を賜りましたことは、なつかしい思い出であります。また、第一回卒業生として、暗中模索の



故一谷名誉教授

就職見通しの中を、まさに火中の栗を拾うが如く、就職開始の為、東奔西走していただいた御厚情に対する感謝は、一回生全員の生涯忘れ得ぬ思い出であります。今にして思えば、卓越した師に恵まれながら、自分の勉強不足が悔まれてなりません。先生の「パイオニア精神と正義感を忘れるな」と言う信条を第一回卒業生として深く心に刻み、これからも座右の銘として崇めて行きます。
私どもとしては、先生より、百歳の長寿をもつて高邁な識見でお導きいただきましたつもりでございましたが、まさに天命時をかさずの感がございます。しかし私どもの心に残された先生の教訓は、永久に消えるものではなく、先生の教えを胸に、社会人として、名古屋市立大学経済学部卒業生として、困難を率先して乗り越えて行く覚悟です。

最近、ある先生から興味ある二つの話を聞いた。

ひとつは、「近頃の学生は就職先選択の重要な指標として自宅から通える所を考えている」というマスコミをにぎわしている例の話であった。

その先生のゼミ生は、某大手都銀の採用が内定した。それからが大変であった。両親が上京させる事に猛反対である。といつても不惑半ばのまだ若い両親である。

結局、ゼミ生は就職浪人して地元市の役所へ就職したとの事である。どちらの意志が強かったのかいずれにしても親子共同協議の結果収まる所が市役所だったのだろう。市役所こそ、否、税金を払う市民こそ、いつらの皮である。

この話をきいて「ああ、市大よお前もか」と聞いた風な事はいわない。むしろ、少家族時代のいま、それは間違いなく不安多き庶民のささやかなくらしの知恵でもあるのだから。

そして多くの彼らは、だからこそまた、やさしく、柔順で、それなりに先を読む事にたけてもいるのだろう。それはそれで、おおいにのびすべき大切な資質でもある

のだ。

だがしかし、やっぱり「過ぎたるは及ばざるが如し」である。

いまひとつは、東京のある出版社の社員がある教授をたずねてきたとき、「ここは本当に大学ですか」といったという。「何故」と聞き返すと、「立看板ひとつない、

「過ぎたるは及ばざる…」 若き後輩諸君へ

カッコのいい事が一人前になされた時もあったなとふと思ひ出しな大学が静謐であつて悪い理由はどこにもないし、花が咲きみだわっている事は女子大でなくともむしろ、おおいに結構である。この社員によけいなおせっかいを言うかといいたい所である。

だが待てよ、大学は少々騒がい方がいいのかもしれないと甲う。静かだからといって、学生が学問の道に邁進しているわけけなさそうである。むしろ、刹那的に怠惰に生きている連中の方が、多そうである。そんなことなら、少々ハミだした連中がハネている時の方がよっぽどましだろう。

「過ぎたるは及ばざるよりよし」である。若い時は少々やりすぎの方がいいのだ。

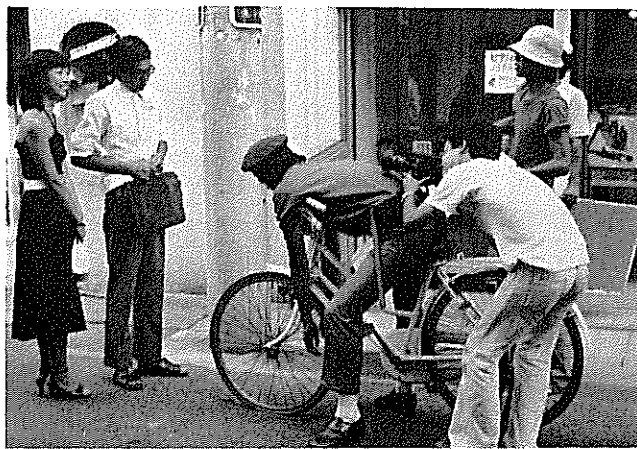
勿論、これも卒業して十年もたち、それなりにささやかな徒食の道もみつけ、これからそんなにハミだすこともなさそうな男のやっかみ半分の排発と思つてもらつていい。

本當の所、二十才の時のあの志の高さを思うと、今の自分に顔の赤らむおもしろいがあるのだから。

(ヘコヘコらんぼう)

花がきれいに咲いた大学があると
は思わなかつた」と答えたという
話である。(丁度その頃、テニス
コートの北は丹精こめたバラが花
ざかりであった。)

そういえばこの大学でも十年程
前にはバリケード封鎖などという



自作映画“おまわりさん気をつけて”ロケ中

ギラギラ照りつける太陽の下、一〇〇〇フィートのフィルムは回り続け、僕らの熱い思いは、不朽の名作「おまわり——」という映画になって、再び僕らの前に現われた。

撮影中、ほんのおまわりさんに間違えられるは、交番は勝手に使うは、喫茶店の照明はこわすは、ほんと悪事の限りを尽くし、それでも、それは「大事の前の小事だ」とかいて、ほとんど気が

映画研究会

にせず、また気にしてたら、映画なんかできないけど、ひたすらみんな暑い中がんばり通して作り上げた作品が、現在かなりの反響を呼んでいる。

過去にも名作とも迷作とも言える作品を世に送り出したが、残念な事に、それは純粋な名市大映画の作品でなく、映研の母体である「十グループ・フラグメント」のもので。しかし、名市大以外の人間は来ちゃダメだよと言う排他的な考えでは、今回のような素晴らしい映画は出来ないと思う。

ところで、その他の活動としては、機関誌「しねまどぐらふ」の発行です。まだ2号までしか発行されていないが、これから発行していく予定です。それから12月には自主映「ハラス」を予定していますので、ぜひお越し下さい。

当部は近年ますます拡がりつつあるテニスブームの波に乗って、その部員数たるや約八十名の大家族である。それだけの部員が大学南西端にあるテニスコートのうち四面で授業後練習をするわけであるから個々の練習量は当然少なくなるが、そのハンディキャップにもめげず、キャプテンを中心に一人一人が多分強くなるという目標を持って毎日の練習に励みかつ少ない練習量を補うために講義の空いた時間や、学生の身分たる大切講義をさぼってまでも（気にせずさぼる連中が多いが）テニスをしているわけである。

行事については竹中杯における教授陣や、OB戦による先輩達とのテニスを通じてのつながりをよりいっそう深いものに行事ができる機会もあるがメイン行事は夏の合宿である。

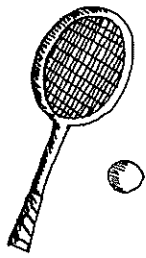
真夏の約一週間を早朝から夕方頃まで他の事を忘れ、とにかく早く終ってこれる事を願いつつ、全員が声を出し合い、あるいはぶつぶつ言いながらも半分開き直って

硬式テニス部

お互い励まし合いながら厳しい練習を乗り越えて行くわけである。しかし、これが終わった後の快い疲労感と充実感は何とも言えないものである。

さらにクラブにとって最も大切なリーグ戦において、選手達はこの上ないプレッシャーと味方の応援の中で平生の練習の成果を十分に発揮すると共に、クラブ全員が一丸となって、現状維持はもちろんの事、あくまでそれ以上を目標に、（結果はどうであろうとも）戦うのである。

この硬式庭球部の唯一の汚点はその部室で、女子の方は外見上は整っているが（ロッカーの中の現実にはよくわからないが）、男子部室ときたら菓子やら雑誌やらテニスウェアやら汚れたソックス等が、そこらじゅうに散らばっており、一般の少年少女が抱いている、あのテニスの華麗なるイメージも一瞥で崩れて行くものと思われる。



物故者 お悔み申し上げます。
星野実君 一期生 平田ゼミ
54年7月 御逝去

会費振込のお願い
会費未納の方は左記の振替口座に振込み頂くようお願いいたします。
口座名 名古屋市立大学
経済学部同窓会
口座番号 名古屋一八六五五
郵便振替できない方は、
東海銀行栄町支店六一六
一六五四に振込み下さい

住所等変更届のお願い
住所・勤務先・氏名等の異動がありましたら、瑞山会事務局まで連絡頂くようお願いいたします。

今後の行事予定
一月 理事会
三月 卒業謝恩会
四月 代議員会
五月 総会

投稿のお願い
会報を会員の参加の場にするためにも、皆様の投稿をお待ちしています。編集部宛お送り下さい。